



勝型 フードシステム
形成プロジェクト

フードバリューチェーン コーディネーター人材育成 パイロットプログラム

FOOD VALUE CHAIN COORDINATOR DEVELOPMENT <PILOT PROGRAM>

こんな方に
おすすめ

- ・ 6次産業化に興味、関心のある方
- ・ 入社後スキルアップをお考えの方
- ・ 社員（新人）研修として活用したい方
- ・ 将来を見据えた学生の方

部分受講

- 好きな科目を好きなだけ
- 目的に合わせた科目を選んで
ステップアップ

対象

- ・ 農業法人の経営者、従業員
- ・ 食品企業、農業団体、商社、金融機関の職員
- ・ フードビジネス起業家
- ※上記団体、企業との取引企業も含まれます。
- ・ 大学院生、大学生、高校生

募集人数

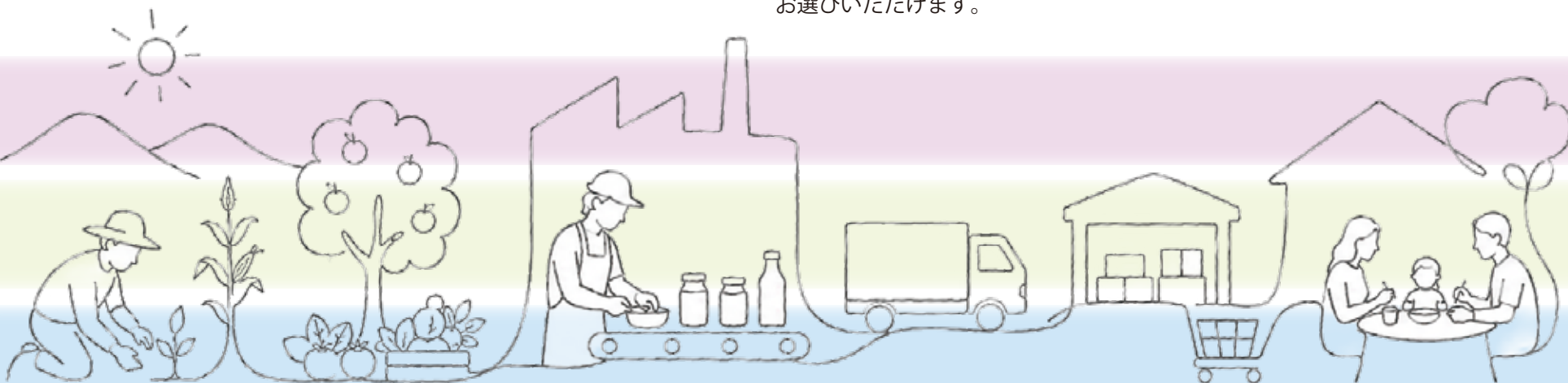
各科目 **20** 名程度
(オンラインは定員なし)

受講料

- ・ 1回(2～3時間)あたり————— **5,000円**
- ・ 小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学の
学部または大学院を卒業された方————— **2割引**
- ・ 大学院生、大学生、高校生————— **無料**

💡 フードバリューチェーンとは
農林水産業・食品の「生産・加工・流通・販売・消費」に至る
各プロセスをつなぎ、一体的な付加価値を向上させる仕組みです。

💡 価値創造できる人材への一歩目として
生産から消費までの各プロセスにおける知識を深め、様々な視点から「食」に
ついて考えます。企業の人材育成、普段の業務とは違った観点からの
アプローチ等、「食」を通して将来を考える機会としてご活用いただけます。
生産から消費までの幅広い科目の中から、ご関心のある科目を1科目から
お選びいただけます。



開講科目

対面とオンライン (Zoom) のハイブリッド方式

科目区分	科目名	時間	講師名	回数	受講料
FVCC 基礎分野 	フードシステム概論	18:00 ~ 20:00	帯広畜産大学 仙北谷 康 教授	全1回	5,000 円
	食品ファイナンス	18:00 ~ 20:00	帯広信用金庫 池本 考範 氏	全1回	5,000 円
	食品安全保障と市場環境	18:00 ~ 20:00	慶應義塾大学 遠藤 正寛 教授	全1回	5,000 円
	サステナビリティ経営	18:00 ~ 20:00	小樽商科大学 泉 貴嗣 准教授	全1回	5,000 円
生産付加価値 向上分野	原料調達と契約生産	18:00 ~ 20:00	よつ葉乳業株式会社 鈴木 信行 氏	全1回	5,000 円
加工付加価値 向上分野	HACCP と食品安全管理	18:00 ~ 19:30	帯広畜産大学 窪田 さと子 准教授	全1回	無料
流通・販売 付加価値 向上分野	サプライチェーン マネジメント基礎	18:00 ~ 20:00	香川大学 滝 聖子 教授	全1回	5,000 円
	DX とデータ活用	18:00 ~ 20:00	岩手県立大学 堀川 三好 教授	全1回	5,000 円
	食品マーケティング※	18:00 ~ 20:00	小樽商科大学 長村 知幸 准教授	全2回	10,000 円

※「食品マーケティング」のみオンライン実施

 小樽商科大学コーディネート科目
 帯広畜産大学コーディネート科目
 北見工業大学コーディネート科目

申込方法

右の二次元コードまたは下記の URL より
専用ページへアクセスいただき、申し込みフォームに
必要事項をご入力の上お申し込みください。

URL : https://univ.obihiro.ac.jp/~fvcc-pro/tp_detail.php?id=7
 申込期日は科目ごとに異なりますので、専用ページをご確認ください。



お問い合わせ

北海道国立大学機構 教育イノベーションセンター
 FVCC プログラム事務局 (帯広畜産大学教務課内)
 TEL : 0155-65-4376
 MAIL : rec_kyoumu@obihiro.ac.jp

主催  北海道国立大学機構
 小樽商科大学
 帯広畜産大学
 北見工業大学

北海道国立大学機構 教育イノベーションセンター
ー十勝型フードシステム形成プロジェクトー
フードバリューチェーンコーディネート人材育成パイロットプログラム
令和 8 年度 部分受講生募集要項

1. 目的

「十勝型フードシステム形成プロジェクト」の一環として、農・食産業を担う人材の育成と学びの機会の拡充を目的に、本プログラムの科目を部分開講します。

農・食産業に関心を持つ方をはじめ、企業における社員研修や個人のスキルアップなど、それぞれの目的に応じて 1 科目から受講できる機会を提供します。

プログラム受講生と共に学ぶことで、農・食産業に関する知識・理解を深めるとともに、業界が抱える課題や今後の方向性について共通認識を形成することを目指します。

1 科目から受講可能で、FVCC 基礎分野の全科目を修了された方にはデジタルバッジを付与します。

2. プログラムの概要

(1) 受講対象

- 農業法人の経営者・従業員
 - 食品企業、農業団体、商社、金融機関の職員
 - フードビジネス起業家
- ※上記団体・企業との取引企業も対象に含めます。
- 大学院生、大学生、高校生

(2) 定員

各科目 20 名程度

(3) 履修方法

① 開講科目

開講科目は別添「部分開講科目一覧」から希望する科目を選択ください。

受講科目数の制限はありません。

② 講義形式

対面またはオンライン（zoom）による実施となります。

※配布資料はデータでの事前配布となり、紙媒体での配布は原則行いません。

※業務等によりやむを得ず欠席する場合には、講義録画視聴にて対応いたします。

③ 受講料金

- 1 回（2～3 時間）：5,000 円（税込み）※詳細は「部分開講科目一覧」をご覧ください。
- FVCC 基礎分野 ：20,000 円（税込み）※FVCC 基礎分野全てを受講される場合の金額です。

- ・ 小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学の学部又は大学院卒業者：受講料 2 割引
- ・ 大学院生、大学生、高校生：受講料無料

※大学都合を除き、お支払い後の返金はいたしかねます。

※科目等履修生は大学院生、大学生には含めません。

小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学以外の大学院生・大学生も受講料無料といたします。

(4) 修了要件・認定

① 科目の修了要件

各科目の修了は、出席（対面またはオンライン）を基本的条件とし、レポート等により修了認定が行われます。万が一欠席した場合は、講義動画を視聴していただき、レポート等により修了認定が行われます。

② デジタルバッジの付与

FVCC 基礎プログラムを全て受講された方には、デジタルバッジを付与いたします。

③ その他

部分受講により修了した科目は、令和 9 年度に履修証明プログラムとして開設予定のフードバリューチェーンコーディネート人材育成プログラムを受講いただいた際に、既修得科目として認定いたします。

ただし、履修証明プログラム受講にあたっては、別途受講資格審査を行います。

3. 申込方法

右の二次元コードまたは以下の URL から、申込フォームにてお申込みください。

URL : <https://forms.cloud.microsoft/r/4AHANLLSbx>



申込フォームでのお申込みが難しい方は別途申し込み用紙をお送りいたしますので、

「5. 問い合わせ先」に記載のプログラム事務局までご連絡願います。

※大学院生、大学生、高校生は上記フォームの提出の他、

在学証明書（発行後 3 か月以内）を「5.問い合わせ先」記載のメールアドレス宛に送付してください。

申込期日：各科目の第 1 回講義日の 2 週間前を目途に設定しています。

詳細は別添「部分開講科目一覧」をご覧ください。

4. 個人情報の取り扱いについて

- ① 北海道国立大学機構が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- ② 応募時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講可否の連絡等、リカレント教育の案内業務を行うためにのみ利用します。

③ 講義等をより効果的にするために、講師及び受講生へ所属機関・氏名を提供することがあります。

5. 問い合わせ先

国立大学法人北海道国立大学機構 教育イノベーションセンター

FVCCプログラム事務局（帯広畜産大学教務課内）

TEL:0155-65-4376 E-mail : rec_kyoumu@obihiro.ac.jp

科目区分	科目名	氏名	時間数	形式	実施日 (期間)	時間帯	受講料	申込 期日	科目概要
FVCC基礎 プログラム	フードシステム概論	帯広畜産大学 仙北谷 康 教授	2	対面 オンライン	10月26日 (月)	18:00 ~20:00	5,000円	10月9日	農畜産物の生産から食品製造、流通、消費に至る一連の市場構造を学ぶ。また、その各ステークホルダーの行動原理とステークホルダー間の相互関係を通じて、フードシステムの全体構造の理解を目指す。
	食品ファイナンス	帯広信用金庫 池本 考範 副部長	2	対面 オンライン	12月8日 (火)	18:00 ~20:00	5,000円	調整中	農畜産業の生産・加工から、流通・販売に至る各段階における資金需要や収益構造、投資・資金調達の特徴を理解するとともに、設備投資、運転資金、在庫・売掛金管理など、食品関連事業におけるファイナンスの基礎を学ぶ。さらに、事業性評価やリスク管理、地域金融機関等による支援事例を通じて、フードバリューチェーン全体の持続的な成長を支える資金調達と金融の役割について考える。
	食料安全保障と市場環境	慶應義塾大学 遠藤 正寛 教授	2	対面 オンライン	11月9日 (月)	18:00 ~20:00	5,000円	10月23日	十勝は日本の食料安全保障に重要な地域である一方、食料の安定供給と農畜産物のフードバリューチェーンにおける高付加価値化には両立が難しい面もある。本講義では、十勝が食料安全保障に貢献しつつ、より高付加価値を創出する施策を受講生と検討する。まず経済学の視点から食料安全保障の必要性や費用・便益を考え、次に国内生産と輸入のバランスや価格変動への政策対応を検討する。最後に、生産・加工の両面から高付加価値化を検討する。
	サステナビリティ経営	小樽商科大学 泉 貴嗣 准教授	2	対面 オンライン	12月18日 (金)	18:00 ~20:00	5,000円	12月1日	フードバリューチェーンにおける持続可能な事業活動のあり方について、環境・社会・経済の側面から学ぶ。農林水産物の生産、加工・流通、販売・消費に至る各段階における環境負荷や社会的課題を捉え、食品ロス、脱炭素、資源循環、人権・労働環境などの課題を踏まえたサステナビリティ経営の考え方を理解するとともに、バリューチェーン全体で価値を創出しながら持続可能性を高めるための経営戦略について考える。
生産付加価値向上プログラム	原料調達と契約生産	よつ葉乳業株式会社 鈴木 信行 取締役	2	対面 オンライン	12月1日 (火)	18:00 ~20:00	5,000円	11月13日	本講義では、フードバリューチェーンにおける原料調達の基本的な考え方と仕組みを学ぶ。農畜産物等の原料特性や需給、価格、品質、安定供給などの調達条件を理解するとともに、品質基準を通じた生産者との連携の仕組みやメリット、リスクについて学ぶ。さらに、需要に応じた原料の確保と、生産者・加工・流通・販売をつなぐ調達戦略について考える。
加工付加価値向上プログラム	HACCPと食品安全管理 ※食品安全管理者育成プログラム併用科目	帯広畜産大学 窪田 さと子 准教授	1.5	対面 オンライン	10月30日 (金)	18:00 ~19:30	無料	9月30日	食品の安全を確保するためのHACCPの基本的な考え方や仕組み、およびその土台となる一般衛生管理（PP）との関係性について学ぶ。さらに、ルールを導入するだけでなく、日々の現場で衛生管理を形骸化させず安定して運用・継続するための考え方を理解し、食品安全管理の全体像を修得する。
流通・販売付加価値向上プログラム	サプライチェーンマネジメント基礎 ※北見工業大学コーディネート科目	香川大学 滝 聖子 教授	2	対面 オンライン	1月6日 (水)	18:00 ~20:00	5,000円	12月18日	サプライチェーンマネジメント（SCM）の基本的な考え方と仕組みを理解し、原材料の調達から生産、物流、販売、消費に至る一連の流れを学ぶ。また、在庫管理、需要予測、情報共有など、サプライチェーンを効率的・効果的に運営するための基本的な手法を理解するとともに、食品産業におけるSCMの特徴や課題について考察を行う。
	DXとデータ活用 ※北見工業大学コーディネート科目	岩手県立大学 堀川 三好 教授	2	対面 オンライン	1月22日 (金)	18:00 ~20:00	5,000円	1月5日	本講義では、人手不足解消と生産性向上に向けたIoT・AI技術の実践的な活用法について学ぶ。一人称視点映像による作業者の行動分析や、人間の能力拡張と共生を目指す「Industry 5.0（人間中心のスマート工場）」の概念を提示し、フィジカルAI時代の展望に加え、データ駆動型の人・モノ・設備の可視化手法の解説、さらに、マニュアル作成など対話型AIを用いた「現場発のDX」の具体例を紹介し、データ標準化を基盤とした生産性と人間性を両立する次世代産業の方向について学ぶ。
	食品マーケティング	小樽商科大学 長村 知幸 准教授	4	オンライン	① 11月16日 (月) ② 11月27日 (金)	18:00 ~20:00	10,000円	10月30日	消費者ニーズや市場動向を起点として、食品の企画・生産・加工・流通・販売をつなぐマーケティングの基本的な考え方を学ぶ。また、市場調査、商品開発、価格、ブランド、販売戦略等について理解し、フードバリューチェーン全体で価値を創出し、消費者に届けるためのマーケティングの役割と実践について考察する。

※現在調整中の項目は確定次第随時更新していきます。
※業務等によりやむを得ず欠席する場合には、講義録画視聴にて対応いたします。
※都合により、日時の変更や休講となる場合は、都度受講生の皆様へご案内いたします。